

「はたらくクルマ」のことがもっと好きになるトラック情報誌

月刊トラックランド

巻頭特別インタビュー

プツマイスタージャパン株式会社

「S-RENT」特装車第1号

プツマイスター製
コンクリートポンプ車納車式

2026
SEP
vol. 57

TAKE FREE



読者プレゼント

スカニアグッズが
貰える！

- 車両紹介：カプセルベッドコンテナ
- トラックランドコラム：物流2026年問題
- サブスケデスグのり：今号の厳選車両！
- 厳選在庫車両カタログ

納車レポート

株式会社イグザクト

スカニアを
もっと気軽に、より身近に

スカニアトラックのレンタルサービス **エス・レント**

S-RENT



※写真は欧州仕様車です。日本市場向け仕様とは異なります。

1

・トラクタヘッド ・アームロール（フックロール）

トラックランド



ドイツ：プツマイスター本社

日本：プツマイスタージャパン本社

プツマイスターの概要や事業内容についてお聞かせください

プツマイスター社は、ドイツが発祥のコンクリートポンプの専門メーカーです。世界に誇るドイツらしい高度な製造技術を元に、ニッチな商品ではありませんがコンクリートポンプ車、並びに同系統の製品の製造を行っており世界ナンバーワンのシェアを誇っています。

日本国内における事業展開についてお聞かせください

プツマイスター社の日本法人

であるプツマイスタージャパン株式会社は、1992年に設立され、現在30年以上が経過しましたがその間、着々と実績を積み上げてまいりました。

日本国内での事業として、商品の製造・販売・アフターサービスの一連の流れを全て行っています。

私自身は、2018年に代表として就任し、今年で9年目を迎えました。元々商社勤めをしていて、こちらに就任以前も建設機械の会社で15年ほど勤めていましたので、ある程度の内容や知識は理解したうえで就任させていたいただきました。

国内での事業内容や展開をもう少し詳しくお話しすると、行っているのが輸入販売という業態になるのですが、輸入した製品というのは国内でそのまま販売する

ことができないんです。第一にしなければならぬのが、日本の法規制に合わせたものに直すこと。もう一つは、国内ユーザー様が求める商品設計にしなければならぬという点ですね。そういった顧客様への対応やニーズに対して加工・調整が必要となる為、弊社では千葉県の八街市に工場を構えていて、そちらで最終的な仕上げを行っています。

特に日本のユーザー様は他国に比べ製品に対する要求水準が高いので、そういった方々にローカライズするというのが当社の役割となっています。

貴社製品の活用事例をお聞かせください

生コンと呼ばれるまだ固まっていない状態の柔らかいコンクリートを扱う工場から、ミキサー車を使用して現場に運搬し、ポンプ車を使用して型枠に流し込む。そういった作業を行っている業種を「コンクリート圧送事業」と言います。



※生コンクリートの略称

Truckland Special Interview

記事・編集 / 月刊トラックランド編集部 写真 / 行本正志
写真提供 / プツマイスタージャパン株式会社



Putzmeister Japan Co., Ltd.

株式会社プツマイスタージャパン

おか ゆうき
代表取締役社長 岡 勇樹氏

ドイツのコンクリートポンプ専門メーカー、プツマイスター社の日本法人であるプツマイスタージャパン株式会社。

同社は1992年に設立し、高性能な製品は国内の大規模な建築・建設などで幅広く活躍の場を広げている。

今回タカネットサービスとの協業体制が発足し、スカニアトラックのレンタルサービス「S-RENT」に同社のコンクリートポンプ車がラインアップに加わり、今後も継続した取り組みに期待が膨らむ。

同社の魅力や製品への想いについて、代表取締役社長、岡勇樹氏にお話を伺った。



設立：1992年6月
所在地：千葉県八街市八街い27-1
事業内容：コンクリートポンプ、モルタルポンプ、モルタル機器（混練、搬送、吹付、注入）、工業用ピストン・ポンプ、スラッジポンプ、トンネル用のポンプシステム（吹付、搬送、注入）
これら製品のリース及びレンタル。これら製品の設置工事の請負。これら製品の組立、操作、利用についてのコンサルティング

建設の両方の現場で活用いただいています。建築・建設がどう違うかと言いますと、建築は簡単にお伝えするとビルや商業施設のような建物を建てることを指します。建設は、

土木や橋などのインフラの整備等を含めた幅広い範囲ですね。弊社製品は大型車であるという点と、ポンプ性能に強

みがあるということで建築・建設どちらでも、より難易度の高い現場で多数ご利用いただいております。

日本市場において貴社製品はどのような評価を受けていますか

大型車の取り扱いがあるという点と、ポンプの性能において特に評価をいただいています。ポンプというのは

圧力と吐出、この2つで性能が決まるんです。圧力は押し出す力でですね。生コンを1時間あたりに押せる力。この2つを併せてポンプ性能と呼んでいるのですが、これらの性能が弊社の強みである大型車と相まって、他社と比較した際に高性能だと評価いただいています。

高性能な点がどのようなところで寄与するかというと、いわゆる生産性になります。製品



時間の3つがかかってしまう。これはやはりお客様から嫌がられてしまいます。ポンプのブームが長ければ長いほど先端のドッキング作業の手間が減るので、この問題は解消できますよね。同じ仕事でも作業時間や追加工数を減らすことができるという点において、当社製品は現場の生産性向上に大きく寄与できていることで評価をいただいています。

直近で始められたレンタル事業について、サービス開始のきっかけや現在の利用率、どのような事業者の方が利用されているのかお聞かせください

コンクリートポンプ車は操作難易度も高く、熟練のオペレーターとセットで真価を発揮するものだと考えています。そういった点を考慮したうえで、ラインアップとして定置ポンプという据え置き型の製品があるのですが、そちらをレンタル品として扱っています。



こちらの製品のレンタルを開始したきっかけとしては、使用頻度があまり多くなく、定期的なオーバーホールが必要な製品なんです。ですのでお客様に購入・保有していただくにはあまり効率が良くない。一時利用の多い製品ですのでそういった事情を鑑みて、それであればレンタル製品としても扱った方がお客様に対する効率性があるだろうということでメーカーとしてのレンタルサービスを開始しました。使用頻度に関してそこまで多

くないながらも、必要な現場は確実にある製品ですので、レンタルサービス開始から間もないですが既に何度か利用いただいているお客様もいらっしゃいます。

今回の弊社との取り組みについて、意気込みや思いについてお聞かせください。

まず今回のタカネットサービスさんとの取り組みについてのお話をさせていただくと、

特装車レンタルのノウハウについてです。ノウハウと一言で言っても様々な観点があると思うのですが、運用方法と車両の保守という点になります。運用に関しては言わずもがなですが、保守という点に関して、機械をいつでも使える状態にしておくって案外難しいんですよ。そこは御社の今まで培ったものがあると思いますので、存分に信頼しています。

また弊社側のメインの想定は長期修理が発生した際や、緊急時に車が足りない時のニーズへ対する対応ですね。もう一つは流通の幅を広げたいという思いです。やはり製品だけが良くても、それをお客様へ届けるといいう手法がないと現場への貢献はできません。そんな折、新たにレンタルというソリューションをタカネットサービスさんから提供いただ



きました。これはメーカー単独で出来るものではなく、特殊車両である点や専門性のある分野での製品、価格の観点から我々も長年苦慮してきた点です

ので、こういったパートナーシップを結べたことは大変うれしく思います。今後は様々なお客様へのニーズにお応えできるよう、共により良いサービスと建築・建設業界に貢献できるといったソリューションを提

供できる事業体系にしていきたいです。今回第1号納車ということでしたが、業界にとって選択肢や解決策が増えるといったプラスの取り組みですので、今後も拡大継続を続けぜひ長いお付き合いをさせていただければと思います。

自社の認知度が大幅に向上したのが2019年に公開された話題になった怪獣映画の影響が大きいと語る岡社長、「当社を初めて知るといいう方に、映画の話をする『ああ、あのシーンの！』と反応をいただくことが多いん

です。自分からも話のきっかけとしてお話することがあります笑」。他にも、東日本大震災の際に発生した





「コンクリートポンプ車」
プツマイスター製
S-RENT 第1号納車式レポート



2026年7月に栃木S-RENTショールーム敷地内で行われた プツマイスター製コンクリートポンプ車納車式の様子をご紹介します。

トラックランド東日本車両センターでは2026年7月3日に、スカニア車両のレンタルサービス『S-RENT』に初めての特装车ラインアップとしてコンクリートポンプ車が加わることを記念し、納車式を開催した。

本式典ではプツマイスター・ジャパン株式会社、代表取締役社長 岡勇樹氏に参列いただき行われた。代表挨拶にて弊社代表取締役、西口高生は「プツマイスター製のこのようなコンクリートポンプ車は国内では中々存在しない。ただ、この機械でないと工事が進まないという場面もある。このような特殊性のある車両、利用率が低くてもお客様にここにしかないと選んでもらえるという点において、今回の事業提携に至った」と今回の導入車両への期待の高さが伺えた。また、岡社長からは「現在、どこの業界も人手不足だが、特に専門

工事と言われる分野はとりわけ厳しい。そういった分野に求められる生産性向上という場面において、弊社製品が寄与するための場を提供いただいた。これからのこの関係を継続していきたい」と述べた。式典では代表挨拶の他に、登壇者によるテーブルカットやゴールデンキの授与が行われた。今回の納車式で導入されたコンクリートポンプ車は既にレンタル先が決定している他、第2号の納車も直近で



予定されており、両社は更なる取り組みの拡大に向けて体制を強化していく。



BSF38-5.16H 主要スペック

コンクリートポンプ	型式	BSF38-5.16H G2
	理論最大吐出量	160m³ / h
	理論最大吐出圧	8.5Mpa
	コンクリートシリンダー径	φ230mm
	ストローク長	2,100mm
	コンクリートシリンダー数	2
	吐出口径	175A
	ホッパー	容量 0.6m³ 高さ約 1,290mm グリル開扉時ポンプ停止安全装置装備
	水ポンプ	ホッパー洗浄用搭載 (25bar, 160L/min)

ブーム	ブーム型式	全油圧 5 段屈折 RZ 式
	最大垂直リーチ	37.5m
	最大水平リーチ	32.8m
	最大下方リーチ	25.3m
	設置必要高さ	7.4m
	旋回角度	365°
	操作方法	手動・無線・有線
	コンクリート輸送管径	125A
	先端ドッキングホース	125A 1.5m
	アウトリガー	前 油圧式 6.0m 後 油圧式 8.1m
	OSS (片側サポート)	前 4.3m 後 6.3m

レンタル車両新規導入！

今回弊社では、世界有数のコンクリートポンプ専門メーカーであるプツマイスター製「ウルトラロングブームコンクリートポンプ車 BSF38-5.16H」を、「S-RENT」の取り扱い車両として導入いたしました！

コンクリートポンプ車は、生コンクリートを打設現場まで圧送する、建設現場に欠かせない車両です。国内外に多くのメーカーが存在する中、プツマイスター社はコンクリートポンプ専門メーカーとして高い技術力と豊富な実績を誇り、世界中の建設現場で高く評価されています。本記事では同ポンプ車の特徴や性能をご紹介します！

POINT 1 長寿命のツイン管を装備

ブーム配管には高強度軽量の Pro-Line ツイン管を標準装備。デッキ配管には肉厚ツイン管を装備しています。

POINT 2 ワンサイドシステムのアウトリガー

従来機比較で前 -30cm、後 +80cm、前方打設時に有効なレイアウト OSS 装備で車道 1 車線での設置も可能です。

POINT 3 独自の油圧システム FFH でスムーズなポンピング

独自の油圧システム FFH (フリーフロー油圧システム) を採用。シリンダー切替時に発生する異常圧力 (プレッシャーピーク) をほぼ解消し、スムーズなポンピング (ソフトポンピング) を実現しました。ポンプ・配管・シャーシの振動や脈動を最小限に抑えています。

切替シリンダーはアキュムレーターにより瞬時 (0.15 秒) に切り替わり、吐出圧力の変動を抑えてコンクリートをほぼ連続で圧送。加えて、閉回路構造でオイルの無駄がなく環境にも配慮した設計です。ピストン前面圧の吐出量は自由に調整可能です。

POINT 4 多彩なレイアウト可 5段RZブーム

多彩な打設レイアウトに対応。従来モデルの頑丈さ・強固さはそのままに、柔軟な現場対応力を実現しています。

BSF38-5.16Hとは

従来のプツマイスター製品の頑丈・強固さに加え、吐出性能・到達距離・操作性のすべてにおいて高水準を実現した製品です。

多彩な打設レイアウトが可能となる 5 段 RZ ブームにより、高所や広範囲にわたる打設もスムーズに稼働するほか、安定したポンピングで、作業効率をさらに引き上げる一台として、あらゆる現場においてスピーディーかつ高品質な施工を実現。

また、作動油容量の低減により整備コストの削減や環境に優しい設計となっています。



ウルトラロングブームコンクリートポンプ車 BSF38-5.16H プツマイスター製

本件に関するお問い合わせはこちら：株式会社タカネットサービス リースレンタル事業部
TEL：045-222-4488 FAX：045-222-4489 サービスサイト：<https://s-rent.jp/>

トランテックス
Trantechs Ltd.

力強く、美しく。
プロフェッショナルな選択。



タカネットサービス様納入スカニア「SUPER」1号車

<https://www.trantechs.co.jp>



欧州製トラック専門販売サイト

EURO TRUCKS

<https://euro-trucks.jp>

New UT-1400R

THERMOKING
undermount Unit



主な特徴

- 信頼のX430コンプレッサ採用高い信頼性を確保
- クラス最高の冷却能力
- 全幅≒200mm削減&約40kgの軽量化 (W 1608 X H 636 X D 721)
- 騒音の低減
- ETVを標準装備し最適負荷運転
 - 20%以上の燃費向上 (当社比)
 - 正確な温度制御
- フロントオープンタイプで整備性向上

THERMO KING

タイヤ点検実施月間 **nitta** Reliance & Action

冬の履き替えまで安全に運行するために

運行前点検を行いましょう!

残溝が無い場合は無理をせず
タイヤ交換をしましょう!

チェックポイント

- ☑ ① タイヤの空気圧は適正か
- ☑ ② タイヤに傷や異物が刺さっていないか
- ☑ ③ タイヤの残溝の確認
- ☑ ④ ホールナットの緩み
- ☑ ⑤ スペアタイヤは使用できる状態ですか



株式会社 **ニッタ タイヤ**

<https://www.nittatire.co.jp/>

本社〒373-0813 群馬県太田市内ヶ島町 211-1
☎ 0276-46-2155(代) FAX0276-48-0178



特集

「2026年問題」 法改正やそれに伴う企業への影響を解説

物流業界では 2024 年問題に続き、今年 4 月には新たな法改正が施行され、企業やドライバーへ大きな影響が広がっています。

これらの一連の課題は「物流の 2026 年問題」と呼ばれ、これまで運送事業者側に委ねられてきた対応が、今後は荷主企業にも法的義務として求められる点が大きな転換点となっています。

法改正に伴う対応が急がれる今、内容を正しく理解し、適切な対策を講じることが欠かせません。今回は、2024 年問題のおさらいをはじめ、2026 年問題の概要や法改正のポイント、企業に求められる具体的な対応などを図解を交えて解説します。

2024年問題とは

2024年4月に施行された働き方改革関連法により、トラックドライバーの時間外労働時間に年間960時間の上限規制が適用され、物流業界全体に生じた様々な影響を指します。ドライバーの労働環境改善を目的とした規制である一方で、輸送力の低下や物流コストの増大など、物流業界全体に大きな影響がありました。

2024年問題 ドライバーへの影響

2024年問題によるドライバーへの最も直接的な影響は、時間外労働の上限規制による労働時間の短縮で、これまで長時間行われていた運転・荷役作業の時間が制限されることとなりました。労働環境の

2024年問題 企業への影響

企業への影響としては、ドライバー1人あたりの稼働時間の減少によって生じる、輸送力の低下が挙げられます。その結果、それまでと同じ量の荷物を従来の人数では運べなくなるケースが増加し、納期の遅延や配送コストの増加にもつながっています。

また、ドライバー不足が深刻化するなか、人材の確保・定着に向けた待遇改善や労働環境の整備も避けて通れない重要な課題となり、荷主企業にとっても荷待ち時間の削減や荷役作業の効率化などの見直し強く求められるようになりました。物流コストの上昇は企業の収益にも直結するため、2024年問題への対応は物流事業者だけでなく、荷主企業にとっても目を背けられない課題となりました。

2026年問題とは

2026年4月に施行された改正物流効率化法（物資の流通の効率化に関する法律）により、一定規模以上の荷主・物流事業者に対して中長期計画の作成・提出や定期報告、物流統括管理者（CLO）の選任などが義務付けられたことで、企業の対応負担が増大

している問題を指します。2024年問題がドライバーの労働時間規制を直接の契機としていたのに対し、2026年問題は荷主・物流事業者双方に対して物流効率化への取り組みを法的に義務付けるものであり、より広範な事業者に影響が及ぶ点が特徴です。物流の効率化や商慣行の見直しを通じて、持続可能な物流体制の構築を目指すものとして位置づけられています。

2024年問題に伴うドライバーや企業への影響

そもそも何が問題？

トラックドライバーの時間外労働の上限規制
トラックドライバーの時間外労働時間に年間960時間の上限規制が適用

人手不足の深刻化
稼働時間減少により、ドライバー不足に拍車がかかり、運びきれない荷物が増加する懸念

ドライバーへの影響は？

① **収入の減少**
残業規制により、収入が減る可能性が出る

② **労働時間の短縮**
長時間労働が是正され、プライベート時間が増加

③ **業務負担の増大**
人手不足により、残った1人あたりの業務負担が増加

企業への影響は？

① **収益性の悪化**
荷物量減少とコスト増により、利益が圧迫される

② **人材不足による輸送力低下**
ドライバー不足により、運べる荷物量が減少

③ **労働環境・待遇の改善**
規制対応を機に、労働条件の見直し・改善が進む。

2024年問題と2026年問題の違い

項目	2024 年問題	2026 年問題
法令	働き方改革関連法（労働基準法改正）	改正物流効率化法
施行時期	2024年4月	2026年4月
対象	トラックドライバー（労働時間）	特定荷主・物流事業者全体
主な内容	時間外労働の上限規制（年960時間）	荷主企業への物流効率化義務化
目的	ドライバーの労働環境改善・権利保護	物流・運送業界の持続的成長
性質	働き手（ドライバー）側のルール整備	荷主・業界構造の改革
位置付	問題が顕在化したフェーズ	解決に向けた構造改革の義務化フェーズ

改正物流効率化法とはどんな法律？

特改正物流効率化法は、2025年4月の第一段階と2026年4月の第二段階に分けて施行されました。

【②荷待ち時間の短縮】トラックの予約受付システム導入や混雑時間回避の日時指定等で、出荷・納品日時を分散させることが求められます。導入にとどまらず、荷待ち時間短縮への活用が重要です。

【③荷役等時間の短縮】パレットやカゴ車導入による荷役効率化、バーコード等の商品タグ導入による検品効率化、バース等の荷捌き場確保による作業環境整備、フォークリフトや荷役作業員の適切な配置によるドライバー負担軽減が求められます。

前述の2025年の第一段階が努力義務による取組促進であったのに対し、続く2026

【①積載効率の向上】

複数の荷主の貨物の積合せや共同配送、帰り荷の確保など

の平準化や納品日の集約による発送量・納入量の適正化、配車システムの導入による配

6年4月施行の第二段階では、

一定規模以上の荷主・物流事業者等が「特定事業者」として指定され、中長期的な計画の作成、物流統括管理者の選任（特定荷主及び特定連鎖化事業者のみ）、定期の報告等が義務付けられる点が異なっています。また、努力義務の実施状況が不十分な場合には国が勧告・命令を実施します。特定事業者に義務付けられる主な事項は以下のとおりです。

【①中長期計画の作成・提出】実施する措置の具体的な内容・目標・実施時期などを記載した中長期計画の作成が義務付けられます。毎年度提出することを基本としつつ、計画内容に変更がない限りは5年に一度の提出が認められます。

【②定期報告】判断基準の遵守状況や取組に関する状況、荷待ち時間等の状況について定期的に報告することが義務付けられます。

これからの物流・運送業界に求められること

荷待ち時間等の計測にあたっては、サンプリング等の手法も許容されており、事業者の実務負担に配慮した運用がなされています。

【③物流統括管理者の選任】特定事業者のうち荷主には、物流統括管理者（CLO：Chief Logistics Officer）の選任が義務付けられます。物流統括管理者は事業運営上の重要な決定に参画する経営幹部から選任する必要があります。中長期計画・定期報告の作成、社内関係部門間の連携体制の構築、物流効率化に向けた設備投資・デジタル化・標準化の推進といった業務を統括管理することが求められます。

なお、努力義務に係る措置の実施状況が不十分な場合には、国が勧告・命令を実施できる仕組みも設けられており、こうした行政による関与を通じて実効性の確保が図られています。

努力義務と主な取組内容

努力義務	各主体の努力義務対象						取組内容（抜粋）
	第一種荷主 (主に発荷主)	第二種荷主 (主に着荷主)	連鎖化事業者	貨物自動車 運送事業者等	倉庫業者	それ以外	
1. 積載効率の向上 1回の運送でトラックに積載する貨物量を増加する	○	○	○	○			●複数荷主の貨物の積み合わせ ●繁閑差の平準化、納品日の集約 ●物流・販売・調達等関連部門の連携
2. 荷待ち時間の短縮 ドライバーの到着時間から荷役等の開始時間までの待ち時間を短縮する	○	○	○		○		●トラック予約受付システムの導入 ●混雑日時を回避した日時設定
3. 荷役等時間の短縮 荷役（荷積み・荷卸し）等の開始から終了までの時間を短縮する	○	○			○	○	●輸送用具導入による荷役等の効率化 ●パレット標準化 ●タグ導入等による検品の効率化 ●事前出荷情報の活用
4. 実効性の確保	○	○	○	○	○	○	●責任者の選任、社内教育体制 ●取組の実施状況・効果の把握 ●物流データの標準化の取り組み ●関係事業者間での連携推進

参考：国土交通省・経済産業省・農林水産省「物流効率化法」理解促進ポータルサイト

該当となる特定事業者の基準値

特定第一種荷主 取扱貨物の重量 9 万トン以上 貨物自動車運送事業者又は貨物利用運送事業者に運送を行わせた貨物の合計の重量（各年度）	特定第二種荷主 取扱貨物の重量 9 万トン以上 自らの事業に関して、次に掲げる貨物の合計の重量（各年度） 1. 運転者から受け取る貨物 2. 他の者をして運転者から受け取らせる貨物 3. 運転者に引き渡す貨物 4. 他の者をして運転者に引き渡させる貨物	特定連鎖化事業者 取扱貨物の重量 9 万トン以上 次に掲げる貨物の合計の重量（各年度） 1. 連鎖対象者が運転者から受け取る貨物 2. 連鎖対象者が他の者をして運転者から受け取らせる貨物	特定貨物自動車運送事業者等 保有車両台数 150 台以上 年度末において保有する事業用自動車の台数	特定倉庫業者 貨物の保管量 70 万トン以上 倉庫に入庫された貨物の合計の重量（各年度）
---	---	--	--	---

取り組むべき事項

 中長期計画の作成 特定事業者は、定期に判断基準を踏まえた措置の実施に関する中長期的な計画を作成することが義務付けられます。	 定期報告 特定事業者は、指定を受けた翌年度以降の毎年度、「努力義務」の実施の状況に関して、報告する必要があります。	 物流統括管理者（CLO）の選任 特定荷主及び特定連鎖化事業者は、物流統括管理者の選任が義務付けられます。 物流統括管理者の要件 事業運営上の重要な決定に参画する管理的地位にある者（重要な経営判断を行う役員等の経営幹部から選任される必要があります。）
---	---	--

一定規模以上の特定事業者に対する勧告・命令

 報告徴収 努力義務として課される措置に関する取組状況が著しく不十分な場合、勧告・命令をするために必要な限度で報告徴収や立入検査を行う場合があります。	 公表・命令 勧告に従わなかったときはその旨が公表され、さらに、正当な理由なく措置をとらなかったときは、当該措置を取るべきことを命令されることがあります。命令に違反したときには、百万円以下の罰金が科せられます。
---	---

参考：国土交通省・経済産業省・農林水産省「物流効率化法」理解促進ポータルサイト

必要な場所へ。 必要な機能を。

イベント時や災害時の宿泊に
対応したカプセルベッドコンテナ



株式会社タカネットサービスでは、平時のイベントや災害時に利用できる移動式の宿泊施設としてカプセルベッドコンテナを導入いたしました。

トレーラー内は上下2段に分かれたカプセルルーム式のスペースを全10部屋設置。各部屋にテレビやコンセントを完備しているため、プライバシーを確保しつつ、長期間の利用でも過ごしやすい環境が整っています。断熱対応や、換気口も装備の他、2台のエアコンを配置している為、夏季や冬季など季節を問わず快適に利用することが出来ます。

近年の度重なる災害において、避難生活におけるプライバシーの確保・健康管理や生活品質の向上が課題として挙げ



られている中、カプセルベッドコンテナはより快適な空間を提供することが可能です。移動ができるインフラとして、緊急の利用が必要になった際も全国の被災地域に派遣することができ、なおかつ短時間で設置することが出来ます。

イベント時の宿泊利用から災害時の医療施設や避難所など、幅広い用途に対応可能なカプセルベッドコンテナは設置の手軽さと快適性を兼ね備え、様々なシーンでの活用が期待されています。

トラック・バス・建機 トレーラー・乗用車 即日 高価買取

KAITORI MAX
買取マックス

from トラックランド

低年式
過走行
OK

事故車
水没車
OK

日本全国
買取台数
3000台

書類手続き
代行無料

対応車種例

下記に掲載のない車種の買取も行っております。
まずはお問合せください。

 アルミバン	 アルミウィング	 平ボディ	 ダンプ	 クレーン
 車載車・セルフ	 ミキサー車	 トレーラーヘッド	 冷蔵冷凍車	 コンテナ専用車
 パッカー車	 バス	 重機・建機	 ワンボックス	 商用バン

✓ **今すぐ無料査定!**

まずはこちらに
お電話ください

☎ **0120-311-025**

【受付時間】10:00~18:00 土日祝定休

詳しい内容を確認する▶▶

買取マックス トラック



S-RENT ご利用ユーザー様

株式会社イグザクト様

【リース車両】 メーカー：スカニア

年式：令和8年 車体形状：トラクタヘッド

最新型のスカニア車両を定額料金で試せる

株式会社イグザクト様に、弊社のスカニアトラックのレンタルサービス「S-RENT」をご利用いただき、スカニアの新型「SUPER」トラクタヘッドを2台納車させていただきました。今年開催されたトラックショー 2026 の弊社ブースにて、サービスを知りご契約いただきました。

スカニア車両の導入は今回が初めてで、本社を構える宮崎県と営業所のある神奈川県川崎市に配置し、利用予定だそうです。

「納車された車両のうち1台は、ドライバー歴20年を超えるベテランに運転してもらう予定です。スカニア車両は燃費性能の良さはもちろんですが、車内空間が魅力と聞いているので快適さやシートの乗り心地に期待ですね」とお話をいただきました。



Q 納車車両の使用用途をお聞かせください(運行区間や何を運ぶのかなど)

A トラクタヘッド2台が納車されましたが、1台は川崎の営業所、もう1台は本社のある宮崎県に配置予定です。
川崎の配置車両に関しては神奈川県の大黒ふ頭や静岡県清水から、福島県や宮城県まで走る予定です。
輸送物は、ピーマンやトマトなどの野菜類から雑誌・書籍など多岐にわたります。

Q どんなドライバーさんが運転するのかお聞かせください

A 2台中、1台に関しては勤務歴約10年、ドライバー歴としても20年越えのベテランドライバーに担当してもらいます。もう1台に関してはこれから選任する予定です。

Q S-RENT 契約のきっかけをお聞かせください。

A 今年開催されたトラックショー 2026 がきっかけです。様々なブースに足を運んだのですが、タカネットサービスさんのブースに立ち寄った際に、営業担当の方から熱心にS-RENTのサービス説明をいただき今回の納車に至りました。

Q スカニア車両にどんなことを期待しているのか

A 燃費性能はもちろんですが、乗り心地の良さに期待しています。

Vol.3
USER REPORT

トラックランド
ユーザーレポート

販売からリース・レンタルまで、弊社サービスご利用中のお客様をご紹介します！
ユーザーレンタル・リース車両活用事例のご紹介

日本ビューテックは
「安全と笑顔を支える」ために
皆様と共に進んでいきます。

多機能ドライブレコーダー 録太郎 VHR-851FHD



- ✓ 最大8個のFull HDカメラ1080P搭載可能
- ✓ 業界最高レベルの高画質映像録画
- ✓ 長時間録画
- ✓ SDカード併用で万全のバックアップ録画体制
- ✓ バックカメラと連動して前後2カメラで録画可能

フルHD 超高画質ドライブレコーダー 撮太郎 VF-DVR-202



- ✓ 自動で記録を開始・停止
- ✓ 本体液晶、パソコンどちらでも映像再生
- ✓ SDカード最大128GBまで対応
- ✓ 2カメラ同時録画が可能
- ✓ 広画角で視界をカバー

ナイスビューモニター VH-S20



- ✓ 業界最高水準の映像品質
- ✓ 高い拡張性
- ✓ 業界最高水準のIP69の防水性
- ✓ 夜間映像が鮮明
- ✓ 先進の信頼性

全日本トラック協会助成金対象機種



www.nvt.co.jp

VIEWTEC

株式会社 日本ビューテック
Viewtec Japan Co., Ltd.

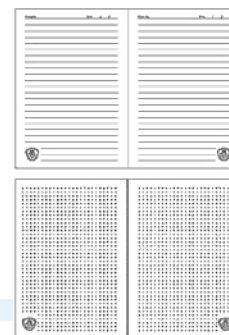
〒211-0041 神奈川県川崎市中原区下小田中 3-26-6 (TEL) 044-777-7771 (FAX) 044-777-8880

アンケートに答えてプレゼントを貰おう!

月刊トラックランド 読者プレゼント



SCANIA ブランドグッズ
A5 ロゴ入り手帳 / 3名様



S-RENT オリジナルグッズ
Tシャツ / 2名様 ※色は選べません

応募方法

右記QRより必要事項とご希望のプレゼントをお選びいただきご応募ください。
【応募締め切り】2026年11月15日(日) 23:59 まで



※ご不明な点は右記お問合せ先までご連絡ください。トラックランド編集部 TEL : 045-264-4498 Mail : hansoku@takanet-s.com

なお、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。※ご希望のプレゼントはおひとり様一点に限らせていただきます。※ご応募いただいたお客様の個人情報を許可なく当社編集部以外の第三者へ開示することはありません。※ご入力いただいた情報は月刊トラックランドの企画・取材参考として使用させていただきます。

編集後記

NEXT 月刊トラックランド vol.58 2026年11月下旬 ごろ発刊予定

今号では、7月に行われたプツマイスター製コンクリートポンプ車の納車式レポートを掲載しております。式典後は実際にコンクリートポンプ車のデモンストレーションを行い、その大きさと迫力に参加者一同、感嘆の声が上がりました。記念インタビューでは同社、代表取締役社長 岡勇樹様にお話を伺わせていただきました。ご協力いただいた皆様にあらためて感謝申し上げます。また、前号にて実施したアンケートではたくさんの方にご回答いただき、誠にありがとうございました。今号でも抽選プレゼントアンケート企画を実施しておりますので、是非ご応募お待ちしております!(編集スタッフ:佐藤)

ShinMaywa

the BEST of the BEST
G-PX・G-RX

最新鋭2~4トン車級、フルラインナップ!

使う人・暮らす人を見つめた安全性、街に届け込む外観デザイン、そして洗練された積込性能でトップを走り続ける新明和工業の塵芥車。最新鋭の2~4トン車級をタイプ別にラインナップすることで、皆さまのニーズに最高峰のパフォーマンスでお応えします。

圧縮式 G-PX・回転板式 G-RX



新明和工業株式会社

https://www.shinmaywa.co.jp

特装車事業部 営業本部 〒230-0003 横浜市鶴見区尻手3-2-43 ☎(045)575-9907 FAX(045)575-0805
直販営業部 ☎(03)3842-6131 北海道支店 ☎(011)641-0511 東北支店 ☎(022)232-4241
関東支店 ☎(048)651-9741 東京営業部 ☎(03)3842-6120 中部支店 ☎(052)231-5191
関西支店 ☎(0798)51-3500 中国支店 ☎(082)285-1171 九州支店 ☎(092)411-5455





営業所のご案内

最新の車両情報は
HPでチェックできます！

トラックランド東日本車両センター
栃木県大田原市蛭田1番225

トラックランド茨城
茨城県結城市若宮11-23

トラックランド埼玉
埼玉県さいたま市岩槻区鹿室606-3

本社
神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目6番4号
みなとみらいビジネススクエア

トラックランド東名浜松インター店
静岡県浜松市東区西ヶ崎町1027

トラックランド近畿販売センター
京都府八幡市上奈良小端25

トラックランド近畿販売センター第二展示場
京都府八幡市岩田高木59番地

トラックランド山陰
鳥取県米子市吉谷620-1

トラックランド四国
高知県高知市大津乙1142-1 松岡ビル102

月刊トラックランドの過去記事やバックナンバーはこちらから！

月刊トラックランド ONLINE

<https://truckland.jp/store/mag/>



最新の車両情報は
ホームページで確認できます！

トラックランド <https://truckland.jp>



ランドレンタカー

レンタカーの予約リクエストはこちらから！

<https://landrentacar.jp>



トラックランド ID:truckland
LINE@友だち募集中！
最新車両のお得情報を配信中！



営業ナンバー対応のトラックリースなら
サブスクdeスグのり
<https://truckland.jp/sugunori>



随時更新中！
instagram
@truckland_official



いいね！募集中
facebook
@TRL.YOKOHAMA



本誌に関する
お問合せ先

株式会社タカネットサービス 月刊トラックランド編集部

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目6番4号みなとみらいビジネススクエア
TEL:0120-617-417 FAX:0120-137-136 お電話受付時間 平日10:00~18:00(土・日・祝休)

